



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月13日

上場会社名 兵機海運株式会社

上場取引所 東

コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大東 洋治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 田中 康博

TEL 078-940-2351

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,220	13.4	15	89.5	32	81.7	21	82.7
2020年3月期第1四半期	3,717	1.3	146	10.8	179	5.0	125	3.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 140百万円 (72.5%) 2020年3月期第1四半期 81百万円 (50.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	18.64	
2020年3月期第1四半期	107.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	11,795	2,617	22.2	2,241.23
2020年3月期	11,236	2,535	22.6	2,171.30

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,617百万円 2020年3月期 2,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				50.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当金額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	7.0	80	70.6	100	68.6	70	56.8	59.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	1,224,000 株	2020年3月期	1,224,000 株
2021年3月期1Q	56,122 株	2020年3月期	56,122 株
2021年3月期1Q	1,167,878 株	2020年3月期1Q	1,167,878 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、社会・経済活動が制限され、消費も大幅に縮小するなど極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は、経済活動も再開し、政府の主導による景気の持ち直しが期待されますが、新型コロナウイルス感染症第2波の到来も懸念されており、先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、総合物流業者として社会的貢献を目的として営業展開を行いました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの営業状況は以下のとおりであります。

①海運事業

内航事業では、鉄鋼メーカー各社の減産により主要貨物である鋼材の輸送量が大幅に減少しました。これに対して、備船料の改定や運航形態の見直しに加え管理経費の削減も行いましたが、利益の減少に歯止めがかからず、売上高1,348百万円(前年同期比21.2%減)、営業利益1百万円(前年同期比97.9%減)となりました。

外航事業では、主に自社船で運航するロシア航路において、コロナ禍の影響から主要貨物であるタイヤの需要減に伴い取扱量が減少しました。また、他社船を利用して鋼材、機械類等を輸送する東アジア航路においても航海数が減少したことから売上高282百万円(前年同期比46.1%減)、営業損失1百万円(前年同期は営業利益38百万円)となりました。

②港運・倉庫事業

港運事業では、経済活動が制限されるなか、輸出の取扱量に厳しいものがありましたが、内食需要増大による食品類や、比較的コロナ禍の影響を受けなかった肥料等の輸入の取扱量が増加しました。その結果、売上高は1,234百万円(前年同期比7.8%増)となりましたが、管理経費の増加もあり、営業利益は10百万円(前年同期比50.9%減)となりました。

倉庫事業では、港運事業で輸出の取扱量が減少したことから神戸地区倉庫の作業収入も減少しましたが、危険品倉庫が堅調に推移したことと、賃貸倉庫の収入が下支えとなりました。その結果、売上高は354百万円(前年同期比5.4%増)となりましたが、2020年1月に稼働した兵庫埠頭物流センターの償却費負担を始めとする原価の増加により営業利益は5百万円(前年同期比61.3%減)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,220百万円(前年同期比13.4%減)、営業利益15百万円(前年同期比89.5%減)、経常利益32百万円(前年同期比81.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円(前年同期比82.7%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は11,795百万円となり、前連結会計年度末と比較して558百万円増加いたしました。

流動資産は3,703百万円となり、前連結会計年度末と比較して541百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加675百万円、前払費用の増加48百万円等に対して、その他に含まれる未収消費税等の減少128百万円、受取手形及び売掛金の減少68百万円等によるものであります。固定資産は8,091百万円となり、前連結会計年度末と比較して17百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の時価の上昇等による増加170百万円、減価償却による減少109百万円、投資その他の資産（その他）に含まれる繰延税金資産の減少52百万円等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は9,177百万円となり、前連結会計年度末と比較して477百万円増加いたしました。

流動負債は4,755百万円となり、前連結会計年度末と比較して346百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加303百万円、賞与引当金の増加52百万円等に対して、支払手形及び買掛金の減少90百万円、未払法人税等の減少11百万円等によるものであります。固定負債は4,421百万円となり、前連結会計年度末と比較して130百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加121百万円等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,617百万円となり、前連結会計年度末と比較して81百万円増加いたしました。

これは主に、その他有価証券評価差額金の増加117百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加21百万円等に対して、配当金の支払による利益剰余金の減少58百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は22.19%となり、前連結会計年度末と比較して0.38ポイントの下降となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が多岐に渡り、適正かつ合理的な算定が困難でありましたことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等に基づいて算定いたしました。詳細は、本日（2020年8月13日）公表の「業績予想のお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394	2,069
受取手形及び売掛金	1,472	1,404
原材料及び貯蔵品	22	14
前払費用	24	73
その他	249	143
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,161	3,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	6,295	6,304
減価償却累計額	△2,541	△2,589
建物及び建物付属設備（純額）	3,753	3,714
船舶	2,992	2,959
減価償却累計額	△2,084	△2,095
船舶（純額）	908	864
土地	1,526	1,526
その他	1,025	1,028
減価償却累計額	△493	△510
その他（純額）	531	518
有形固定資産合計	6,720	6,623
無形固定資産		
その他	160	158
無形固定資産合計	160	158
投資その他の資産		
投資有価証券	1,023	1,193
その他	196	143
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	1,193	1,310
固定資産合計	8,074	8,091
資産合計	11,236	11,795

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,054	964
短期借入金	3,197	3,500
未払法人税等	21	10
賞与引当金	3	55
その他	132	224
流動負債合計	4,408	4,755
固定負債		
長期借入金	3,726	3,848
船舶修繕引当金	34	40
退職給付に係る負債	414	426
その他	115	106
固定負債合計	4,291	4,421
負債合計	8,700	9,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	1,788	1,751
自己株式	△118	△118
株主資本合計	2,315	2,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237	355
繰延ヘッジ損益	△16	△15
その他の包括利益累計額合計	220	339
純資産合計	2,535	2,617
負債純資産合計	11,236	11,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,717	3,220
売上原価	3,132	2,779
売上総利益	584	440
販売費及び一般管理費	437	425
営業利益	146	15
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	16
持分法による投資利益	6	1
受取保険金	11	—
その他	11	9
営業外収益合計	47	27
営業外費用		
支払利息	11	9
その他	2	0
営業外費用合計	14	10
経常利益	179	32
税金等調整前四半期純利益	179	32
法人税等	53	10
四半期純利益	125	21
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	125	21

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	125	21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	117
繰延ヘッジ損益	△10	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△44	118
四半期包括利益	81	140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	140
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて重要な変更はありません。